

地域通信事業の成長戦略

IR DAY 2024

1. 現状の課題

2. 市場の変化と今後の事業戦略

3. 地域通信事業/NTT東西のめざす方向性

1. 現状の課題

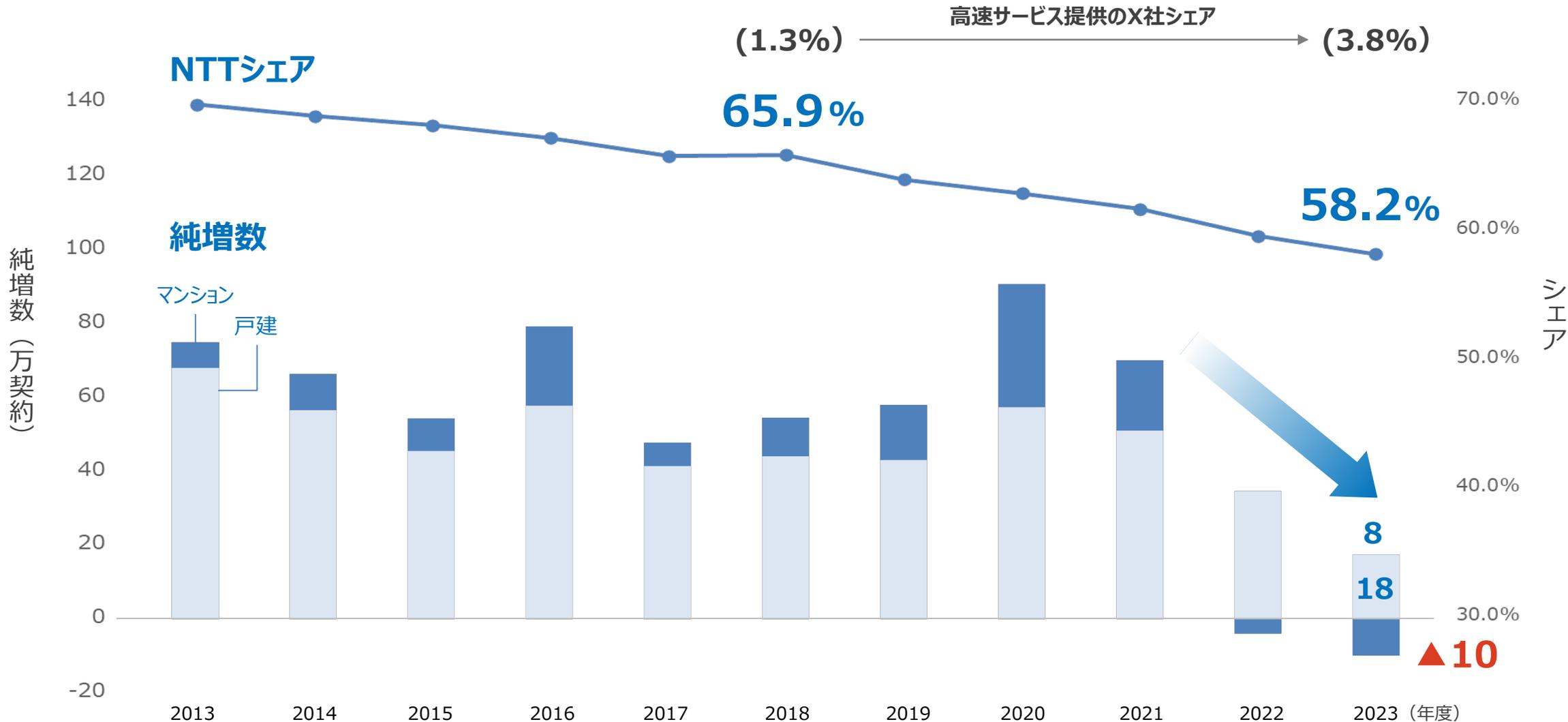
2. 市場の変化と今後の事業戦略

3. 地域通信事業/NTT東西のめざす方向性

現状の課題：光純増の縮小



- 光高速化ニーズへの対応、マンション市場への取組みの不足

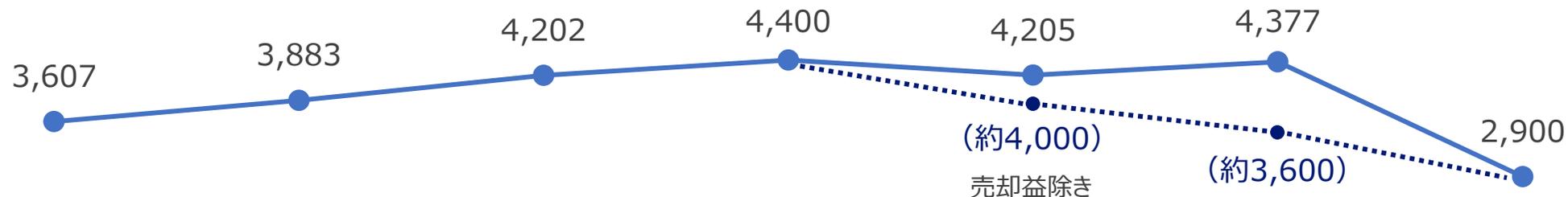


現状の課題：コスト削減の推移

- インフレ影響（電気料金、人件費等）や特殊要因もあり、コスト削減効果は縮小

営業利益

(単位：億円)



前中期計画のコスト削減（対2017年度）実績



※2018、2019年度のコスト削減額は、2017年度に実施したメタル設備の減損（約1,300億円）による反動減影響あり

1. 現状の課題

2. 市場の変化と今後の事業戦略

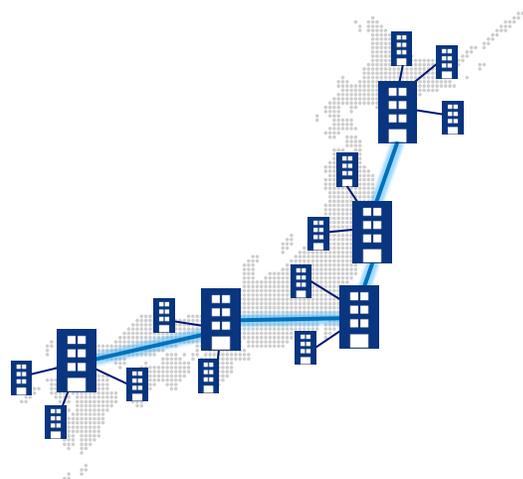
3. 地域通信事業/NTT東西のめざす方向性

爆発的なデジタル化とネットワーク需要

- 官公庁等のデジタル化によりクラウド化が進みWANの需要が拡大
- クラウド事業者にはトラフィックが集まり、データセンター間ネットワークの需要が増加
- 個人利用も、映像視聴やリモートワークの進展等、トラフィックが増加

法人向け

全国に多数ある拠点間をプライベート網で接続を要望する需要が増

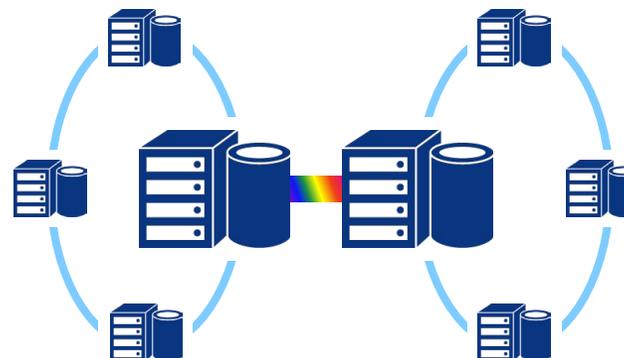


受注事例

- 官公庁等基幹ネットワーク構築
- 情報基盤、教育、防災ネットワーク構築

データセンター間接続

データセンター間をプライベート網で遅延なく接続を要望するデータセンター事業者が増



受注事例

- データセンター間のネットワーク／基盤増強
- 関連の設備構築、工事保守の受託

個人向け

映像視聴、リモートワーク、オンラインゲーム等の利用増に伴い、トラフィックが爆発的に増



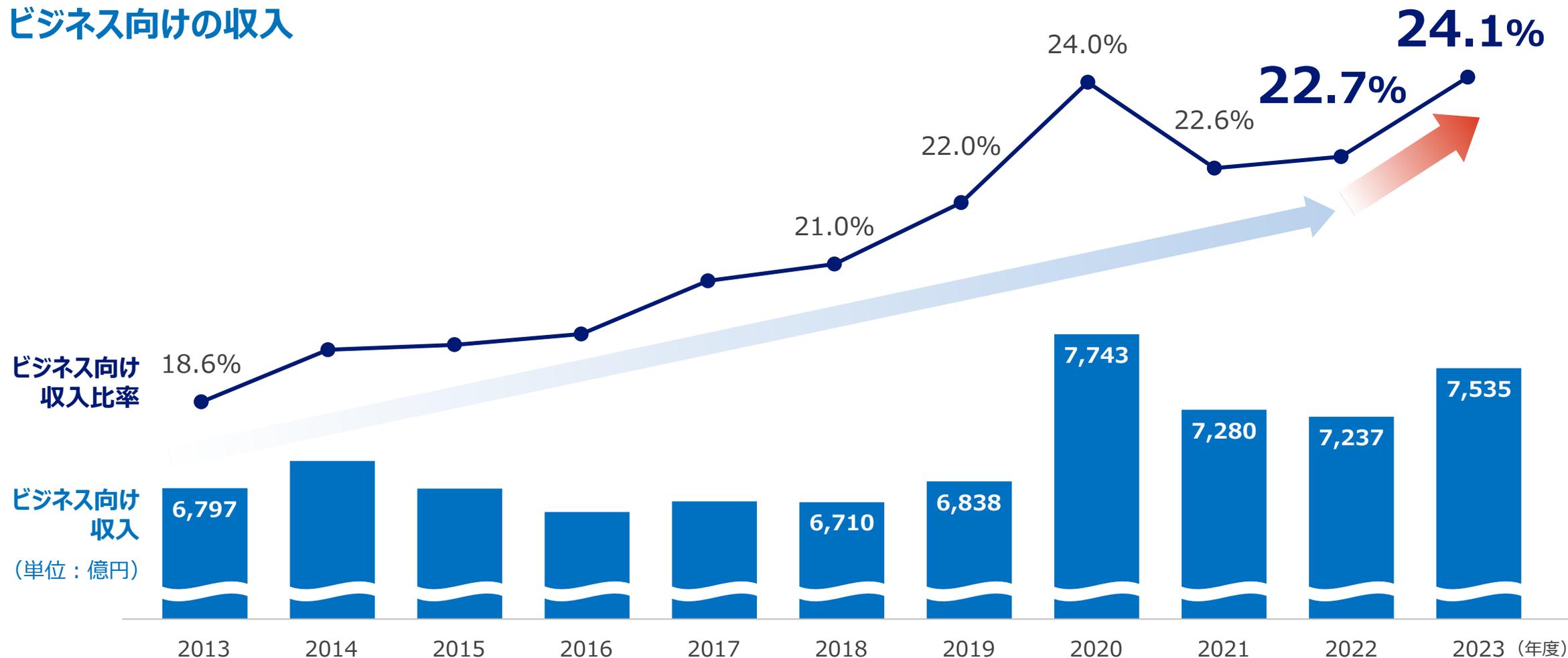
受注事例

- 光ブロードバンドサービス（ハイスピードタイプ）

収益構造の変遷

- ビジネス向けの収入割合は、DX、クラウド化等により拡大
- 今後、AIの拡大により、さらにビジネス向けの割合は高まっていくと想定

ビジネス向けの収入



1. 法人向けネットワーク事業の成長戦略

2. 光ビジネスのシェア回復

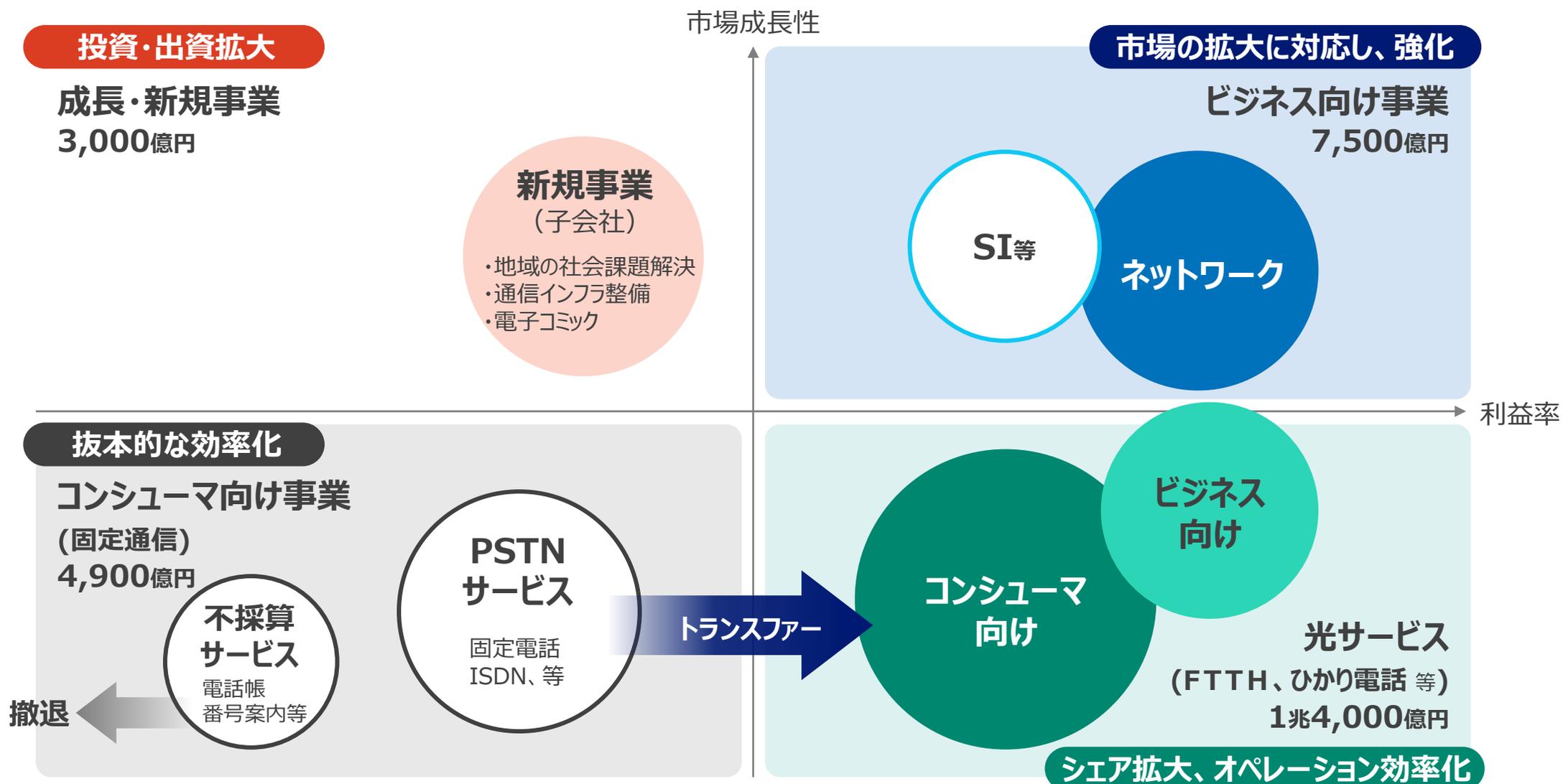
3. 従来型ビジネスのコスト構造改革

～通信オペレーション改革～

4. 事業ポートフォリオの入れ替え

5. 成長事業の更なる拡大

事業ポートフォリオ別の方向性



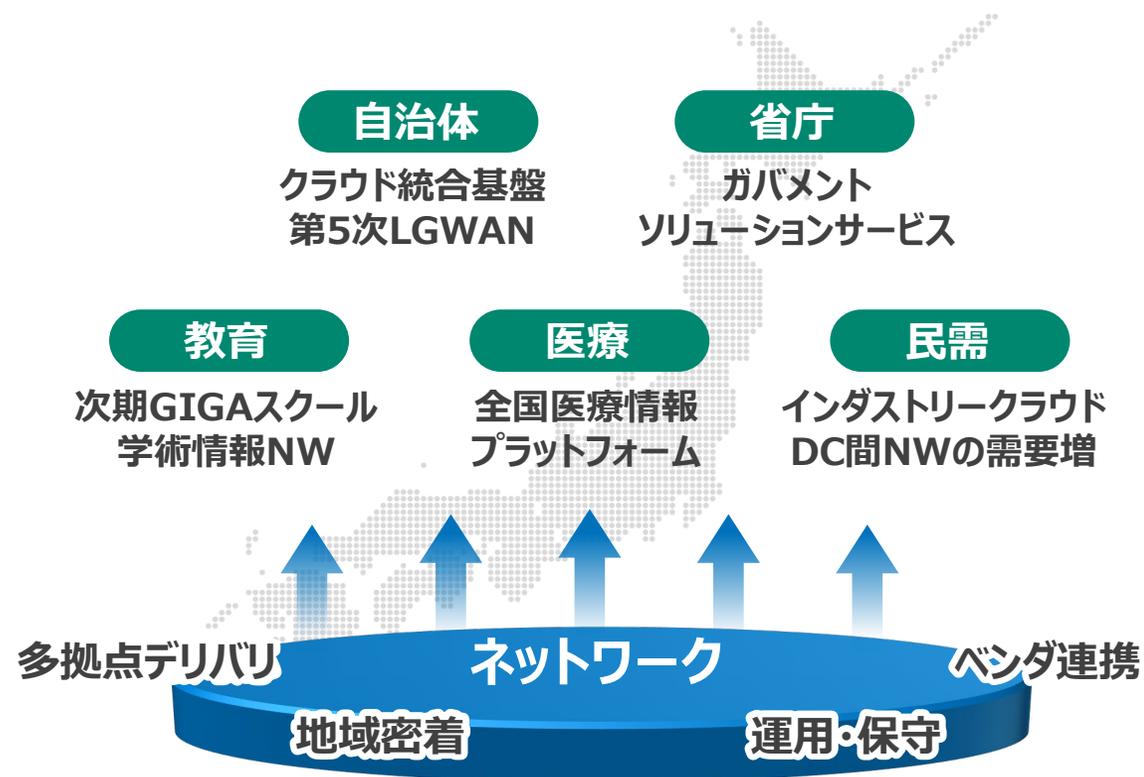
注：円の大きさは2023年度営業収益

法人向けネットワーク事業の進化・拡大

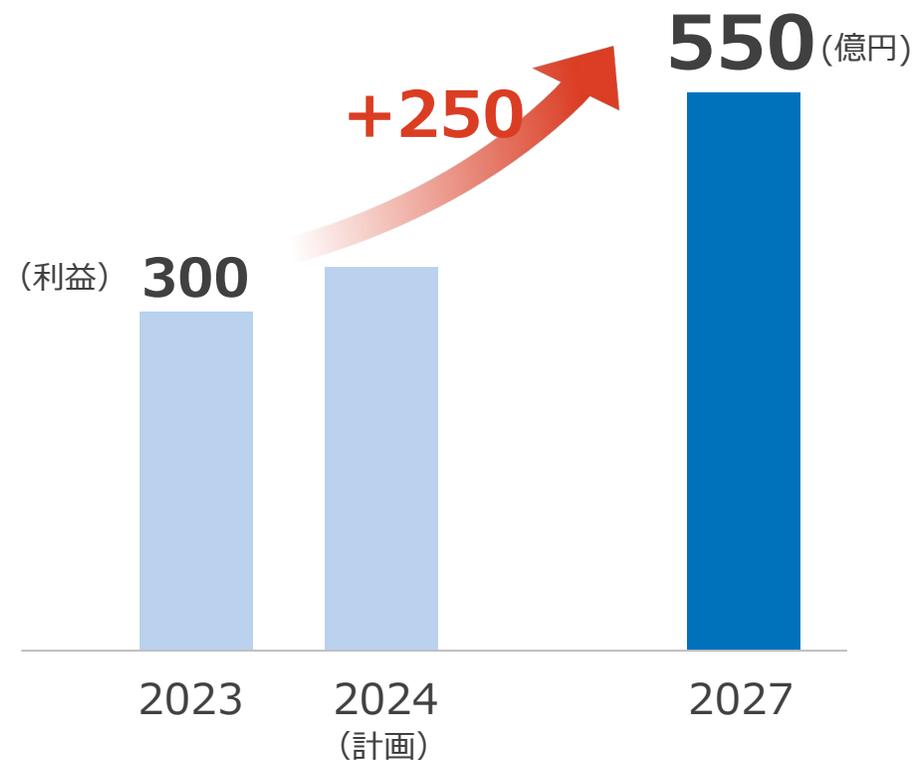


- 既存の光ネットワークを最大限に活用し、強みである地域とのコネクション、エンジニアリング力を活かした、社会のデジタル化を捉えたネットワーク事業を拡大（27年度 250億円増益）

今後のデジタル社会基盤の下支え

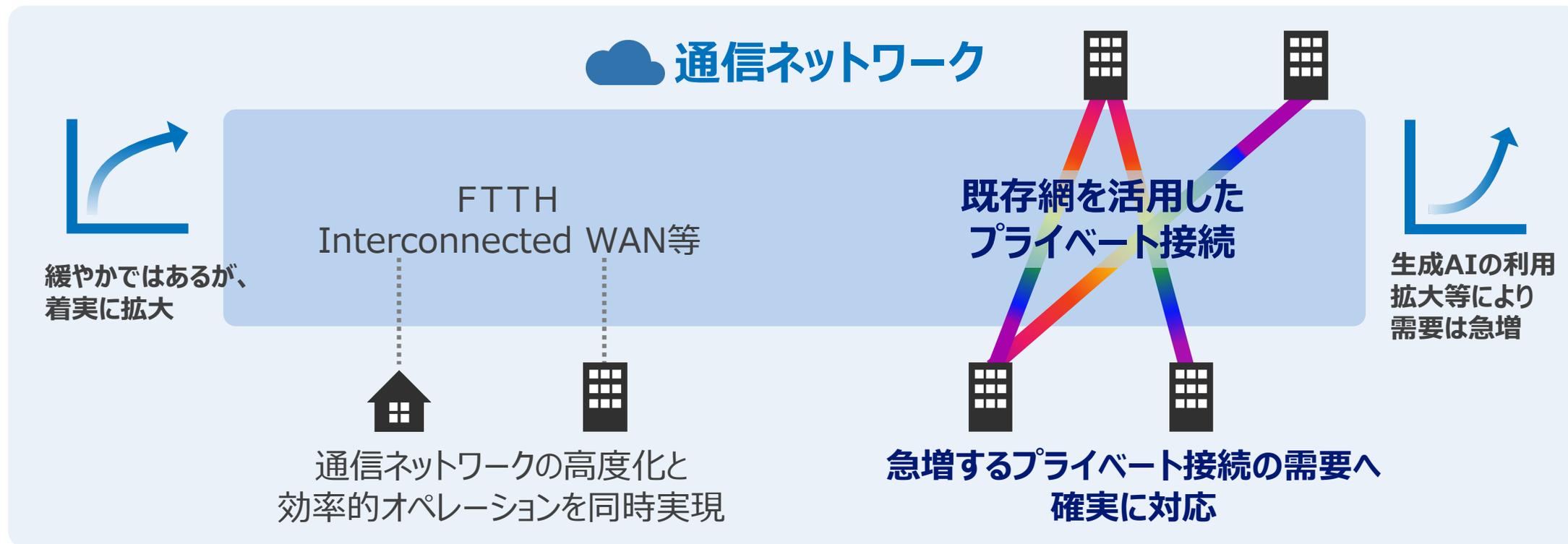


ネットワークインテグレーション事業による利益拡大



今後のネットワーク需要への対応

- 通信トラフィック増の更なる加速に対応して、通信ネットワークの高度化と効率的オペレーションを同時実現することで、持続的に、我が国の情報通信インフラ維持・サービス提供を担っていく
- 生成AIの利用拡大等が進むと、拠点間を直接結ぶプライベート接続の需要が増加
- 保有する通信ネットワークを最大限活用し、プライベート接続の需要を確実に取り込んでいく



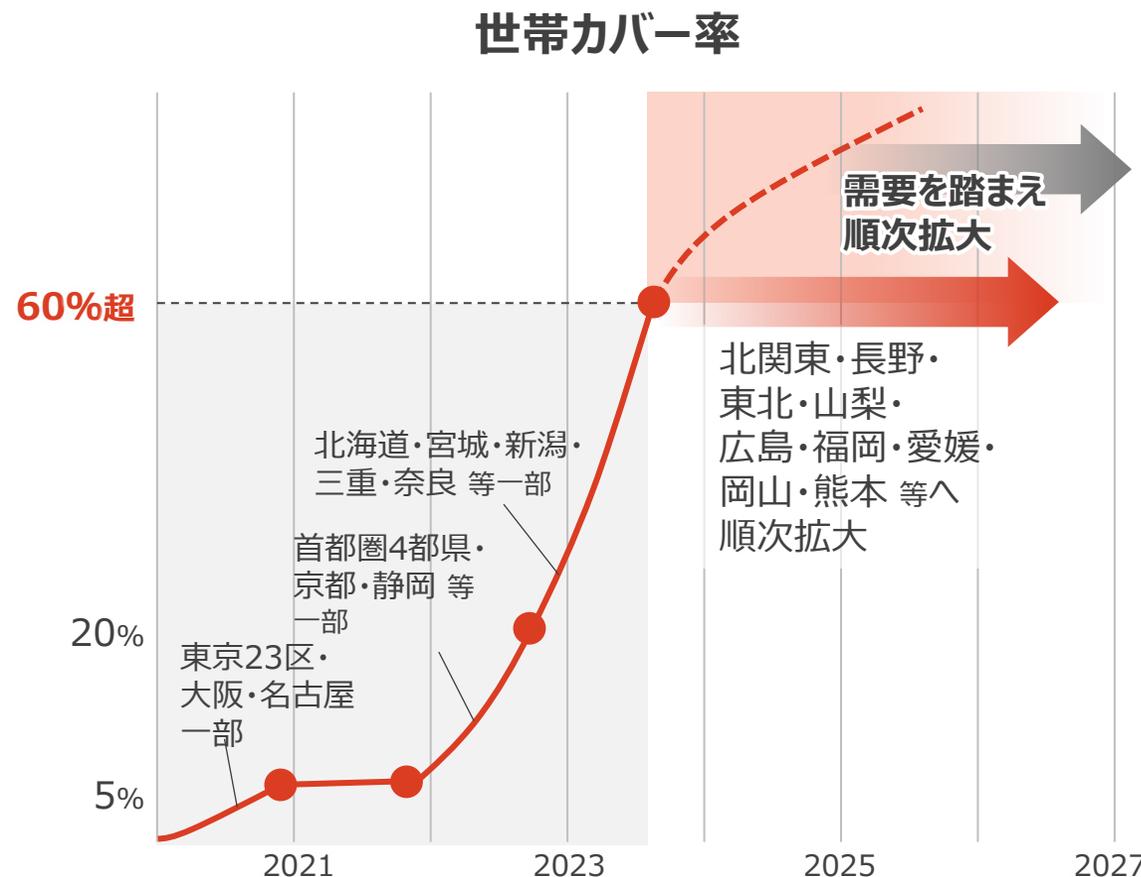
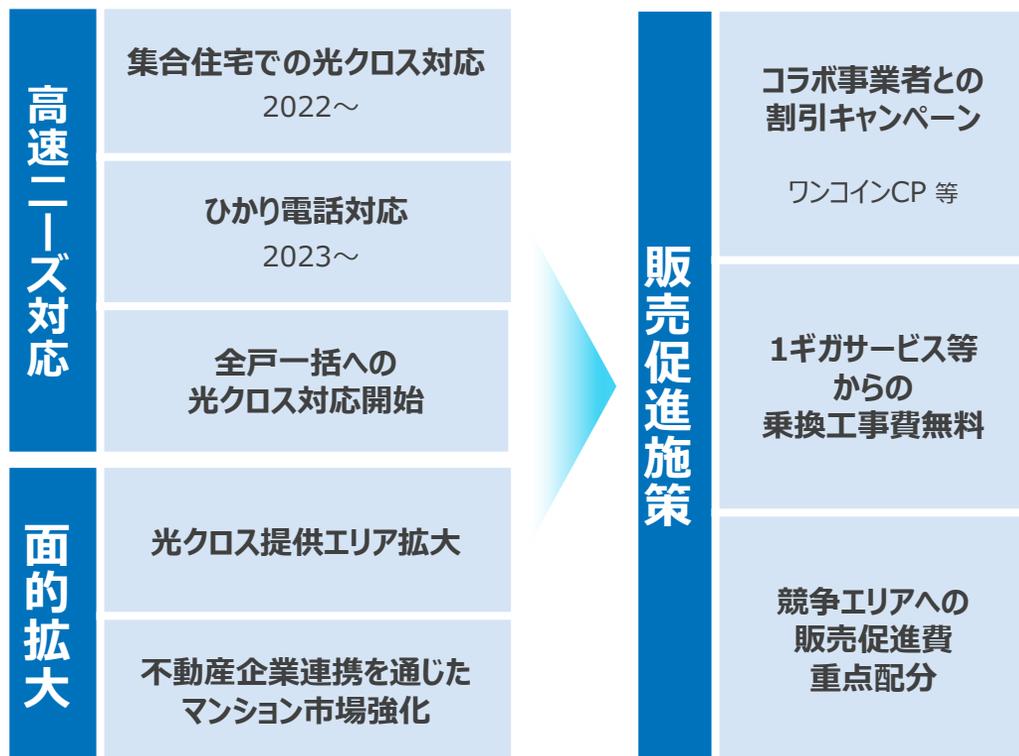
光クロス拡販に向けた取り組み（光高速化ニーズへの対応）



- ARPU拡大が見込まれる光クロスへ、工事費無料等の移行促進施策や市場環境に応じた販促費投入を通じた高速ニーズへの対応強化、および面的拡大の取り組みを通じ、光基盤を拡大

高速ニーズへの対応強化/販促施策

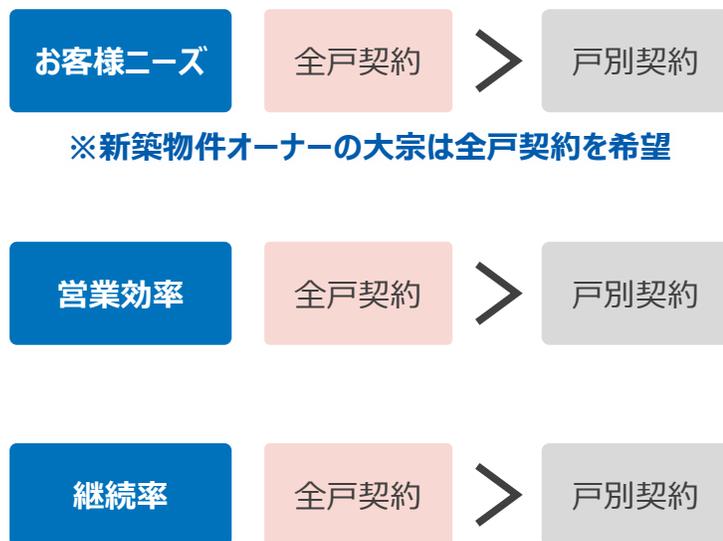
光クロス提供エリア拡大スケジュール



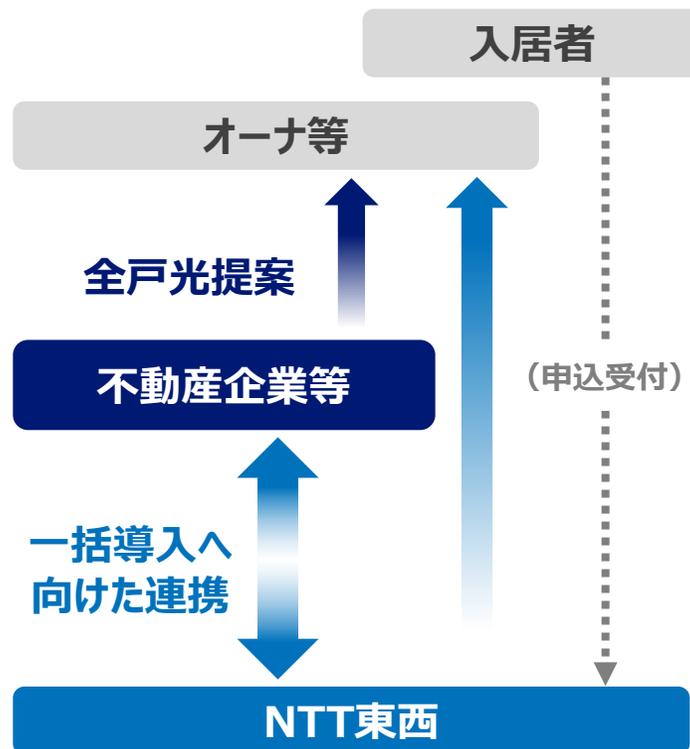
マンション市場における取り組み

- 市場ニーズや営業効率が高い全戸一括の導入にむけて、デベロッパ・管理会社と連携強化
- 全戸一括の拡大により、中長期的に収入が維持できるビジネスモデルへ転換

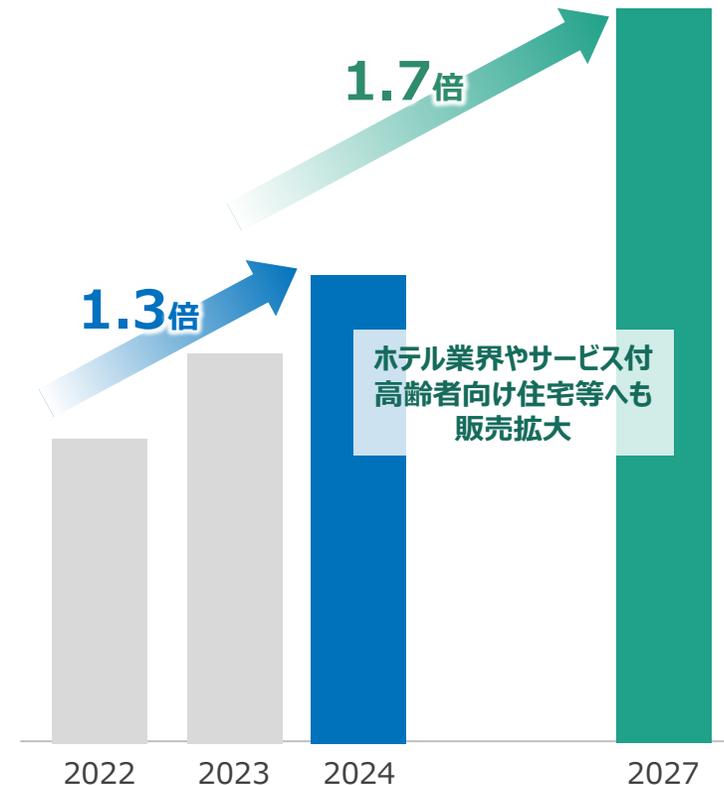
全戸一括提供の意義



不動産企業等との包括的連携を通じた全戸一括営業の強化



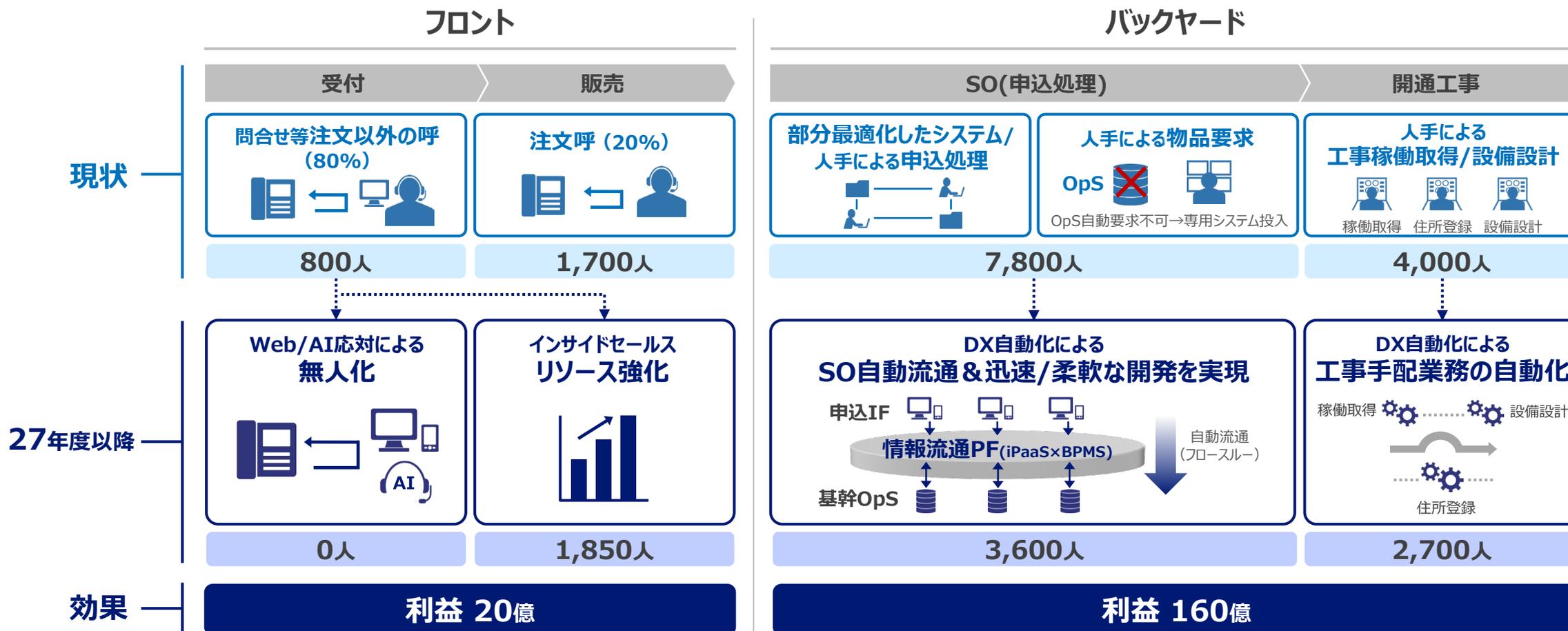
全戸一括導入戸数



DX・AIによる通信オペレーション改革



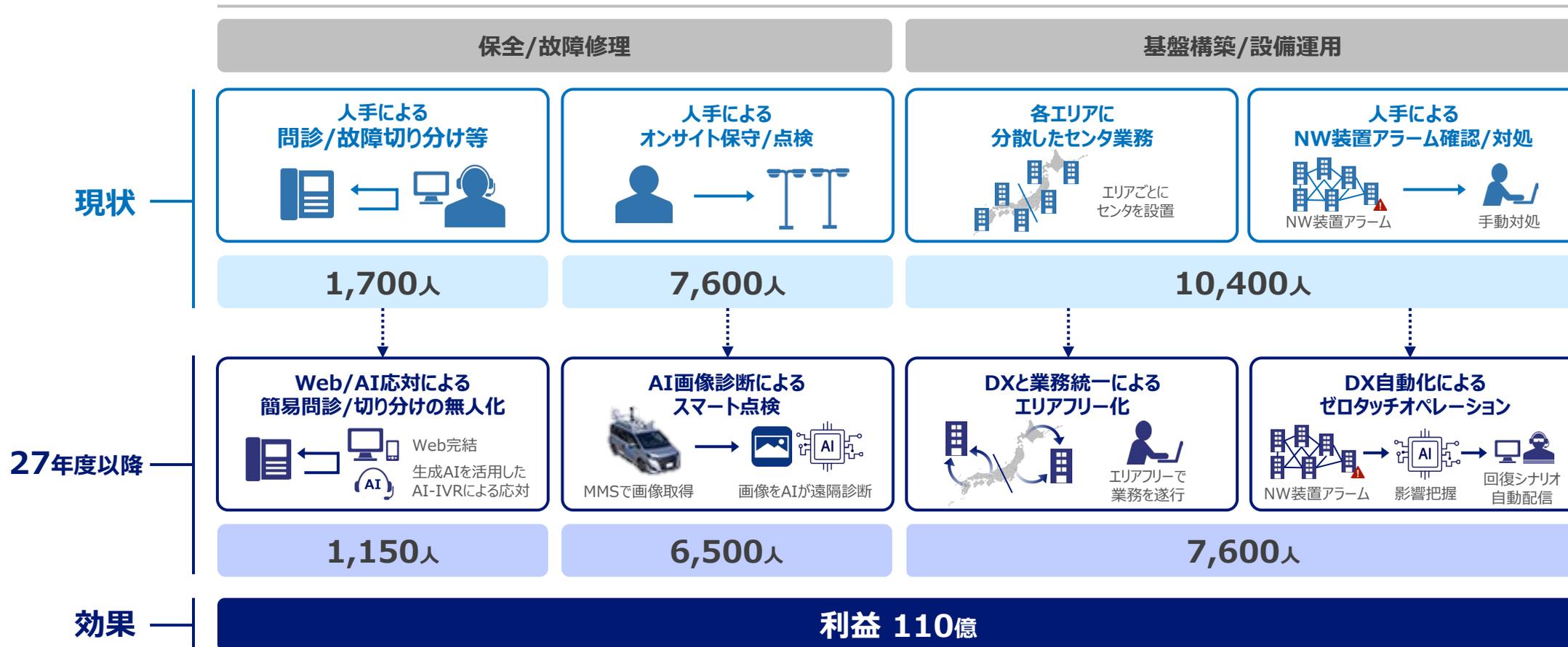
- 人手中心のフロント・バックヤード有人対応業務を、DX・AIを全面活用し再設計
⇒徹底的な効率化と“ゼロタッチ化（無人化）”
- 約半分の人員に削減することで、27年度に180億円の利益改善をめざす



DX・AIによる通信オペレーション改革

- オンサイト業務等の人手による作業はAI画像診断等の技術を活用することで業務を高度化
- NW装置の運用における定型反復業務は、DX・AIを全面活用し“ゼロタッチ化（無人化）”させることで、27年度に110億円の利益改善をめざす

設備系業務



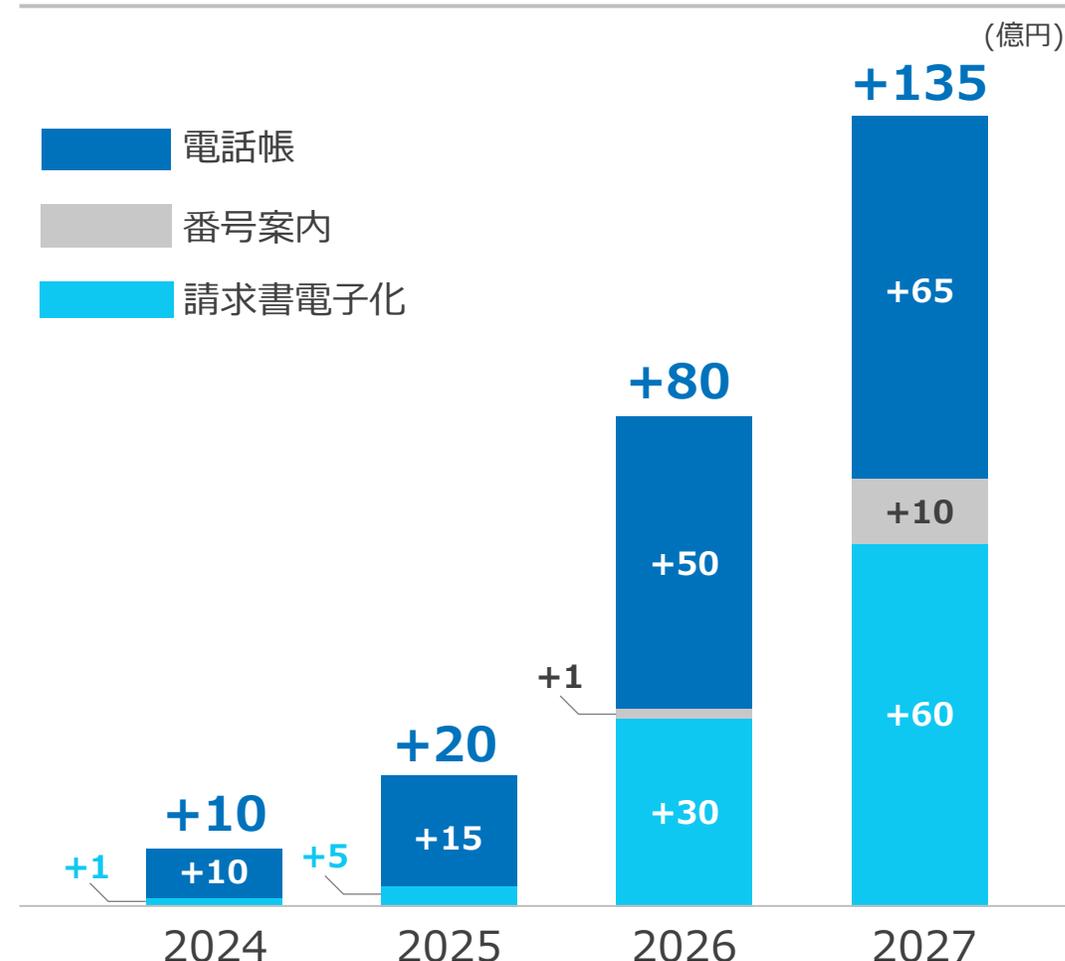
不採算サービスからの撤退

- コンシューマ向け回線関連ビジネスの終了と早期デジタルサービス化に向けた取り組みを通じ、2027年度に135億円の利益改善

スケジュール

(年度)	2024	2025	2026	2027
電話帳	▲7/19 報道発表 (提供終了)	▲3月 タウンページ最終版発行	希望制による随時配送	
番号案内	▲7/19 報道発表 (提供終了)	▲3/31 提供終了 ▲センタ閉鎖 (東日本:2センタ) (西日本:4センタ)		
請求書電子化	▲7/29 公表 翌月合算請求書 発行条件見直し	▲請求書電子化 本格展開		
その他	社会動向や事業環境を踏まえ、 電報等のレガシーの在り方を検討			

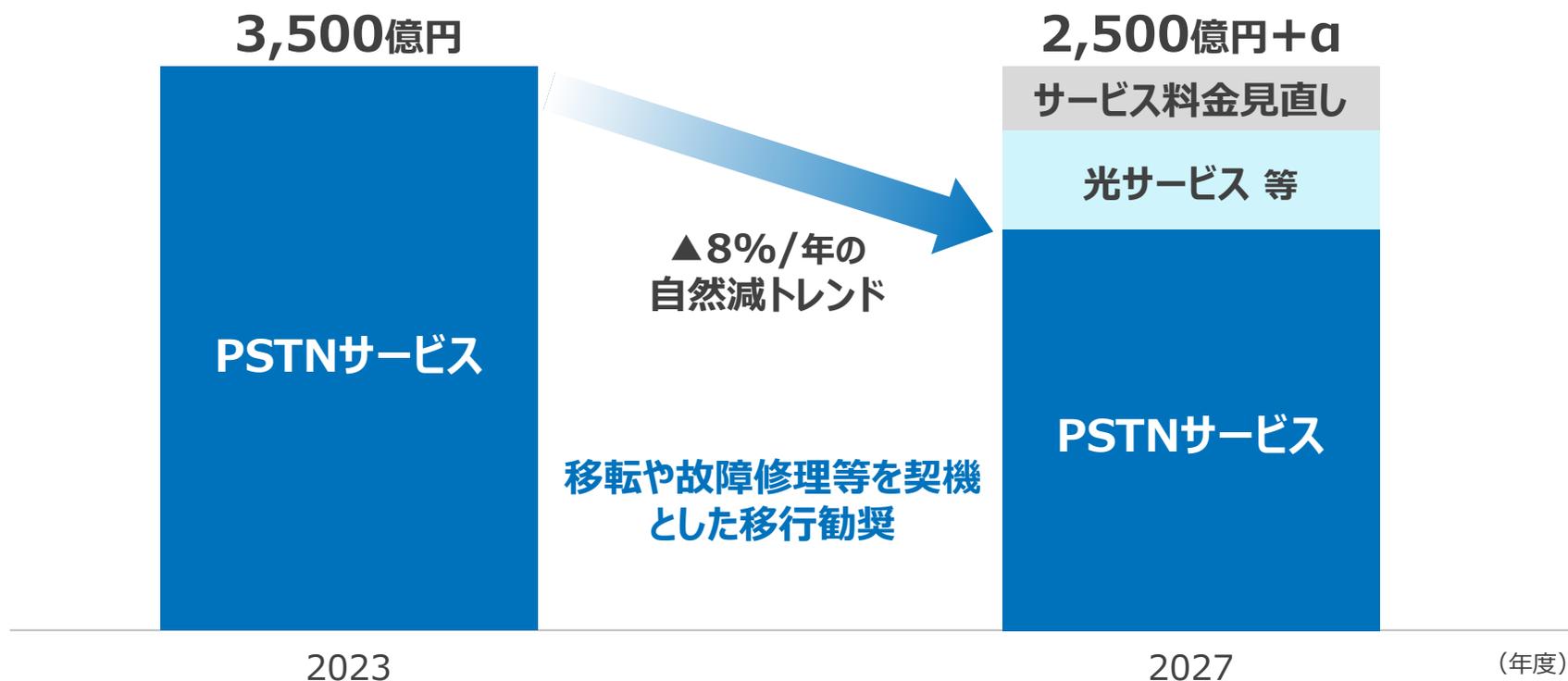
利益改善効果



PSTNサービスの代替サービスへの移行



- 3,500億円のPSTNサービスの基本料収入基盤は、お客様との様々なコンタクト機会での移行勧奨や料金戦略により最大限維持
- メタル設備が限界を迎える2035年頃までに代替サービス(光・無線を活用した固定電話)へ移行



成長事業の更なる拡大（ソルマーレの拡大）



- 国内最大級（月間利用者数4,000万人超、取扱い冊数140万冊以上）の電子書籍ストアであるコミックシーモアの拡大に加え、オリジナルコミック制作からライセンス展開までの包括的取組みを強化し、グローバル市場へもビジネスを展開
- 全社売上高は、約800億円(2023年度)から1,000億円(2027年度)をめざす



ソルマーレ編集部
シーモア
コミックス

オリジナル作品を拡充
約**3,000**作品
(2023年度比 1.5倍)

コミック
シーモア

出版 アニメ/映画

ドラマ グッズ

2027年度

国内事業拡大 
約**950**億円

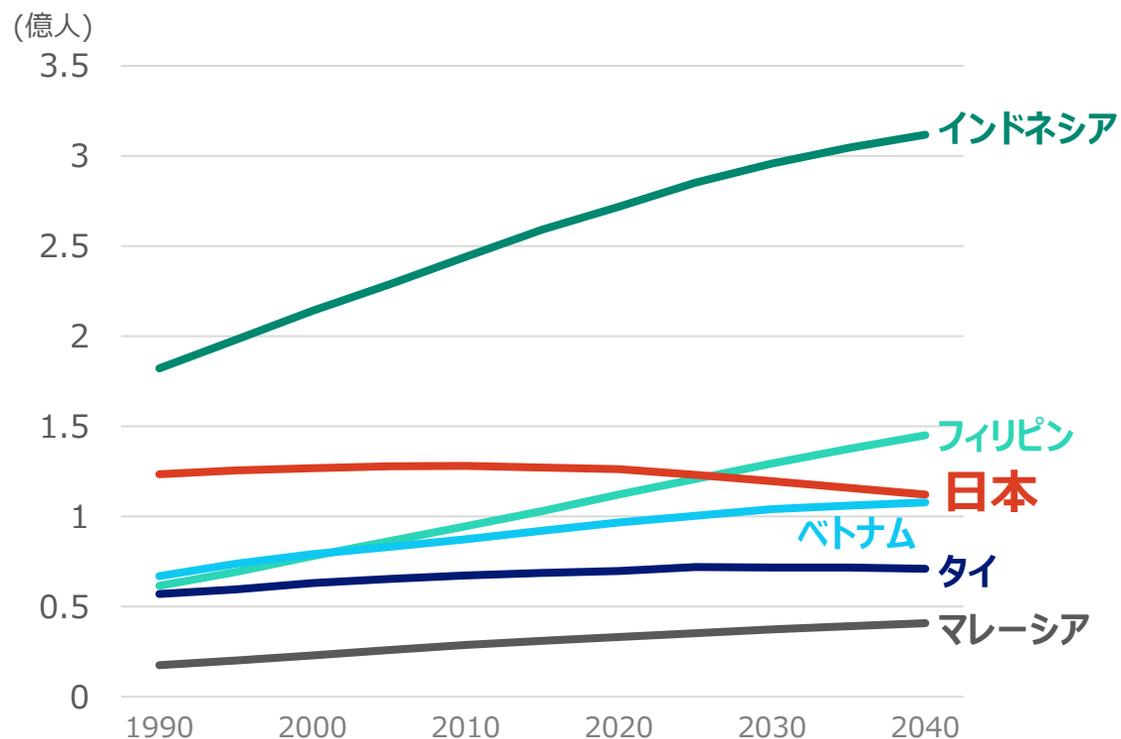
グローバル展開 

約**50**億円

成長事業の更なる拡大 (NTT e-Asiaの取組み)

- 現在、ベトナム・ビンズオン省において、高品質な通信インフラ整備のノウハウを活用したFTTH整備事業を展開中
- 今後の人口増が見込まれる東南アジア地域へ、“社会インフラ事業”を拡大

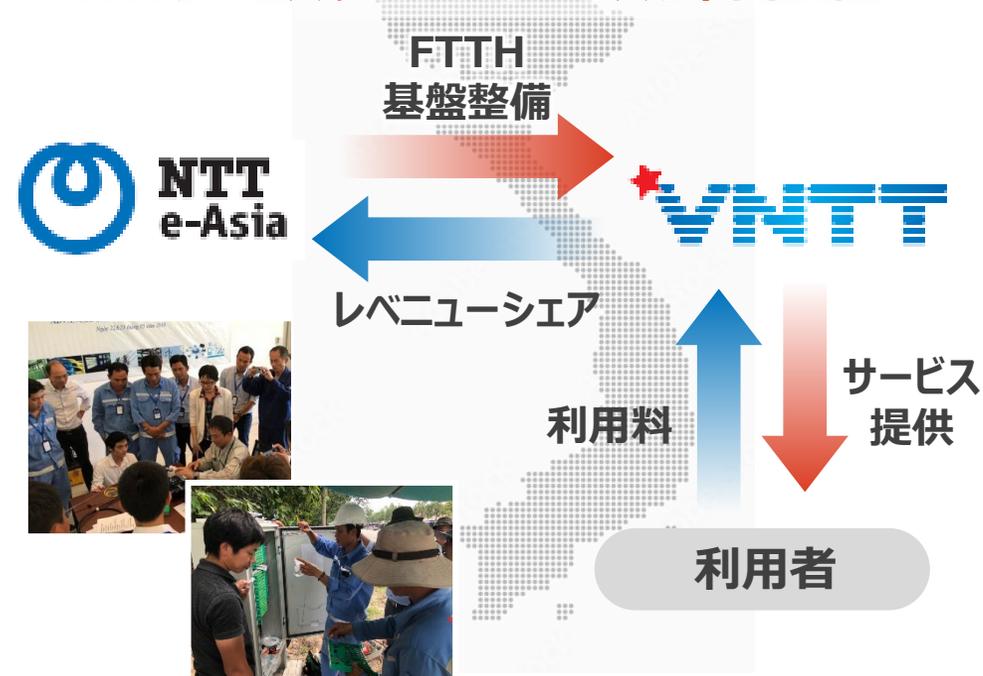
人口増が見込まれる東南アジア地域



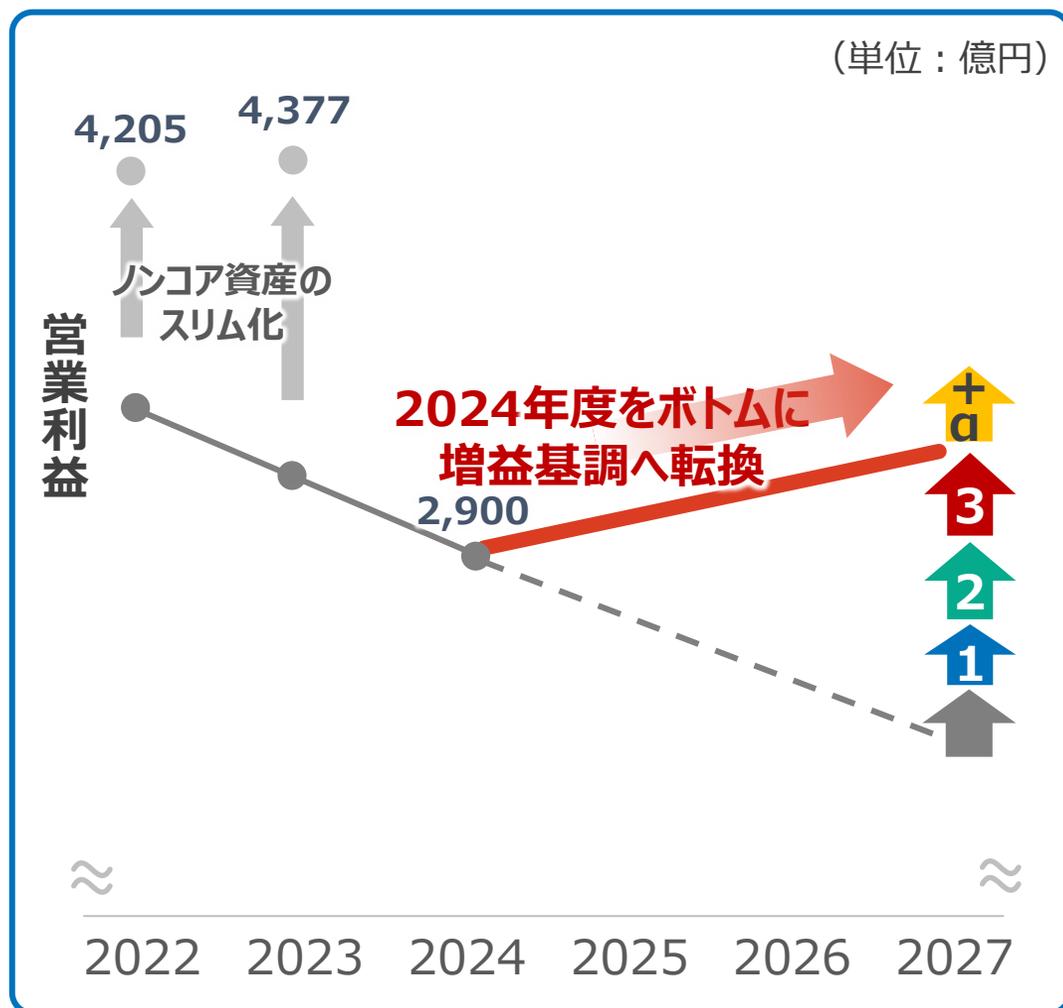
(出典) PopulationPyramid.net,

ベトナム ビンズオン省における取組み

現地キャリア向けにFTTH基盤を構築
NWサービスやWi-Fiサービス展開を支援



業績回復に向けた取り組み（まとめ）



- 新規事業の拡大、更なる料金見直し等
- 人材・事業ポートフォリオの見直し
2027年度 +450億円
- FTTHの回復に向けた取り組み
2027年度 +400億円
- 法人事業拡大等の取り組み
2027年度 +250億円
- 設備コスト、人件費減等の経営改善取り組みの継続

1. 現状の課題

2. 市場の変化と今後の事業戦略

3. 地域通信事業/NTT東西のめざす方向性

地域通信事業/NTT東西のめざす方向性



- 回線インフラ提供者 + 社会の個別/成長需要に対応するNWインテグレーター
- Public Entity向けのプラットフォーマー（社会インフラ事業）
- 地域を支え、存在し続ける会社



スマートストア



市役所、道の駅に導入
人手不足の解決、利便性の向上
(山形県 長井市等)

次世代施設園芸



IoT/AI等による失敗しない農業
自社圃場による生産
(ベジアイシティ山梨中央)

文化芸術のデジタル化



岩松院本堂天井絵「鳳凰図」を
デジタル化し天井絵として再現する
展覧会を開催

バイオガス発電



岩手県紫波町における
メタン発酵バイオガス発電

eスポーツ



NTTe-Sports高等学院千葉校
(2025年 4月より開校)

地域のスポーツ振興



全国初!わかさスタジアム京都に
野球専用AIカメラ&PTZカメラを
同時常設導入

地域モビリティ



ドライバー不足による路線バスの
運行減少等を見据え、
自動運転サービスを社会実装

ドローン



農薬散布における
パイロットも含めたドローン派遣
橋梁や添架管路、鉄塔などの
インフラ点検

***Innovating a Sustainable Future
for People and Planet***



本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明は、現在当社の経営陣が入手している情報に基づいて行った判断・評価・事実認識・方針の策定等に基づいてなされもしくは算定されています。

また、過去に確定し正確に認識された事実以外に、将来の予想及びその記述を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を用いてなされもしくは算定したものです。将来の予測及び将来の見通しに関する記述・言明に本質的に内在する不確定性・不確実性及び今後の事業運営や内外の経済、証券市場その他の状況変化等による変動可能性に照らし、現実の業績の数値、結果、パフォーマンス及び成果は、本資料及び本説明会におけるご説明に含まれる予想数値及び将来の見通しに関する記述・言明と異なる可能性があります。

※ 本資料中の「E」は記載の数値が計画または業績予想であることを表しています。